

2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月10日

上場会社名 株式会社アルファ 上場取引所 東
 コード番号 3434 URL <https://www.kk-alpha.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚野 哲幸
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長(広報・IR担当) (氏名) 渡辺 勝俊 (TEL) 045-787-8401
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け個別ミーティング有)

(百万円未満切捨)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	18,109	29.3	403	—	689	174.9	535	373.8
2023年3月期第1四半期	14,005	3.8	△138	—	250	△31.6	113	△43.4

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 1,377百万円(△20.9%) 2023年3月期第1四半期 1,742百万円(67.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	55.91	—
2023年3月期第1四半期	11.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	64,618	31,847	47.6	3,212.15
2023年3月期	61,639	30,669	48.0	3,085.65

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 30,780百万円 2023年3月期 29,568百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	20.00	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	11.3	2,000	232.8	1,800	33.5	1,200	128.9	125.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	10,200,000株	2023年3月期	10,200,000株
2024年3月期1Q	617,555株	2023年3月期	617,555株
2024年3月期1Q	9,582,445株	2023年3月期1Q	9,565,005株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における国内外の経済情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の影響長期化や、アメリカ・ヨーロッパにおける急速な利上げによる金融システム不安、新興国からの資本流出懸念等がリスク要因となり、景気の先行きも依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります自動車産業におきましては、半導体供給不足による減産や生産調整に回復の兆しが表れてきているものの、中国市場においては局面の変化に伴う販売不振・減産の影響が進行しております。セキュリティ機器事業の関連産業であります住宅設備産業におきましては、新築住宅着工戸数は資材高騰の影響により戸建ての注文住宅・分譲住宅は減少、その他、賃貸住宅・マンションは前年度とほぼ同水準に推移しております。

このような事業環境の中、当社グループは引き続き手許資金の流動性を確保しつつ、生産性の向上や経費削減等、変動費・固定費管理の徹底を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は18,109百万円と前年同四半期に比べ、4,103百万円（29.3%）の増収となりました。利益につきましては、それぞれ営業利益は403百万円と前年同四半期に比べ、541百万円の増益（前年同四半期は138百万円の営業損失）、経常利益は689百万円と前年同四半期に比べ、438百万円（174.9%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は535百万円と前年同四半期に比べ、422百万円（373.8%）の増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 自動車部品事業(日本)

自動車部品事業(日本)におきましては、半導体供給不足の緩和に伴う得意先での生産台数の増加などにより、売上高は2,369百万円と前年同四半期に比べ、476百万円（25.2%）の増収となりました。増収効果や合理化活動の進展などにより、セグメント利益は38百万円(前年同四半期はセグメント損失172百万円)となりました。

② 自動車部品事業(北米)

自動車部品事業(北米)におきましては、半導体供給不足の緩和に伴う得意先での生産台数の増加に加えて、為替換算の影響等から、売上高は3,846百万円と前年同四半期に比べ、1,287百万円（50.3%）の増収となりました。一方、一過性の生産ロスが発生などもあり、セグメント損失は35百万円(前年同四半期はセグメント損失139百万円)となりました。

③ 自動車部品事業(アジア)

自動車部品事業(アジア)におきましては、中国での日系車の販売不振・減産影響を大きく受けたものの、ASEANでの売上増により、売上高は4,434百万円と前年同四半期に比べ、123百万円（2.9%）の増収となりました。固定費管理や経費削減の徹底を図ったものの中国での減収影響が大きく、セグメント損失は177百万円(前年同四半期はセグメント利益85百万円)となりました。

④ 自動車部品事業(欧州)

自動車部品事業(欧州)におきましては、半導体供給不足の緩和に伴う得意先での生産台数の増加に加えて、為替換算の影響等から、売上高は3,867百万円と前年同四半期に比べ、1,200百万円（45.0%）の増収となりました。増収効果や合理化活動の進展などにより、セグメント利益は6百万円(前年同四半期はセグメント損失94百万円)となりました。

⑤ セキュリティ機器事業(日本)

セキュリティ機器事業(日本)におきましては、戸建の新築住宅着工の減少による影響を受けつつも、住宅市場での電気錠に対する認知や需要の高まりと、世界的な電子部品逼迫の状況が改善しつつあること、また、大手賃貸住宅事業会社のプロジェクトによる受注が有り、住宅関連製品の売上は好調に推移しました。

ロッカーシステム事業については、国内観光需要の回復によりレジャー・観光客が増加したことで、コインロッカーのオペレーション収入は堅調な回復となりました。また、物販については貴重品ロッカー、更衣ロッカー、ホテル向けセルフクロックロッカーが好調に推移しました。さらに、インバウンド増の背景からマルチ決済対応のターミナルロッカーの受注につながったことで、売上は前年同期を上回りました。なお、売上高は3,819百万円と前年同四半期に比べ、1,036百万円(37.3%)の増収、セグメント利益は527百万円と前年同四半期に比べ、217百万円(70.0%)の増益となりました。

⑥ セキュリティ機器事業(海外)

セキュリティ機器事業(海外)におきましては、日本向け製品(電気錠)の生産増により、売上高は2,855百万円と前年同四半期に比べ、1,227百万円(75.4%)の増収、セグメント利益は280百万円と前年同四半期に比べ、163百万円(140.8%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は64,618百万円となり、前連結会計年度末に比べ、2,978百万円の増加となりました。また、有利子負債は前連結会計年度末に比べ、413百万円増加し、18,251百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金が1,108百万円増加したことや、受取手形及び売掛金が1,578百万円増加したこと等により、2,814百万円増加し、38,186百万円となりました。

固定資産は、建物及び構築物が117百万円増加したこと等により、165百万円増加し、26,428百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金が934百万円増加したことや、短期借入金が896百万円増加したこと等により、2,219百万円増加し、23,295百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が286百万円減少したこと等により、419百万円減少し、9,474百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が783百万円増加したこと等により、1,178百万円増加し、31,847百万円となりました。

以上により、自己資本比率は前連結会計年度末の48.0%から0.4ポイント減少し、47.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、売上高70,000百万円、営業利益2,000百万円、経常利益1,800百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,200百万円を見込んでおります。なお、為替レート的前提につきましては、1 US \$ = 130円、1 ユーロ = 135円としております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,946	8,054
受取手形及び売掛金	14,136	15,714
電子記録債権	1,225	1,218
商品及び製品	2,375	2,669
仕掛品	1,353	1,393
原材料及び貯蔵品	6,739	6,486
その他	2,668	2,737
貸倒引当金	△73	△89
流動資産合計	35,371	38,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,993	5,110
機械装置及び運搬具（純額）	7,696	7,622
工具、器具及び備品（純額）	2,247	2,216
土地	1,730	1,760
その他（純額）	2,740	2,774
有形固定資産合計	19,408	19,484
無形固定資産		
のれん	1,110	1,063
その他	1,750	1,752
無形固定資産合計	2,860	2,816
投資その他の資産		
投資有価証券	3,257	3,381
その他	855	868
貸倒引当金	△119	△121
投資その他の資産合計	3,993	4,127
固定資産合計	26,262	26,428
繰延資産	5	4
資産合計	61,639	64,618
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,355	8,289
短期借入金	8,442	9,339
未払法人税等	556	589
賞与引当金	450	338
製品保証引当金	336	337
その他	3,935	4,401
流動負債合計	21,076	23,295
固定負債		
社債	165	125
長期借入金	7,137	6,851
退職給付に係る負債	235	229
資産除去債務	42	42
リース債務	1,248	1,113
その他	1,065	1,113
固定負債合計	9,894	9,474
負債合計	30,970	32,770

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,760	2,760
資本剰余金	2,962	2,962
利益剰余金	18,484	18,828
自己株式	△551	△551
株主資本合計	23,654	23,998
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,655	1,739
為替換算調整勘定	4,258	5,041
その他の包括利益累計額合計	5,913	6,781
非支配株主持分	1,101	1,067
純資産合計	30,669	31,847
負債純資産合計	61,639	64,618

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	14,005	18,109
売上原価	12,249	15,557
売上総利益	1,756	2,552
販売費及び一般管理費	1,894	2,148
営業利益又は営業損失(△)	△138	403
営業外収益		
受取利息	6	13
受取配当金	34	26
為替差益	366	324
不動産賃貸料	5	6
助成金収入	18	3
その他	29	14
営業外収益合計	461	389
営業外費用		
支払利息	39	88
その他	33	15
営業外費用合計	72	103
経常利益	250	689
特別利益		
固定資産売却益	4	0
特別利益合計	4	0
特別損失		
固定資産売却損	7	0
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	7	0
税金等調整前四半期純利益	247	689
法人税、住民税及び事業税	159	264
法人税等調整額	△32	△60
法人税等合計	127	203
四半期純利益	120	485
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	7	△49
親会社株主に帰属する四半期純利益	113	535

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	120	485
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△129	84
為替換算調整勘定	1,751	807
その他の包括利益合計	1,622	891
四半期包括利益	1,742	1,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,657	1,403
非支配株主に係る四半期包括利益	85	△26

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	1,370	2,528	4,233	2,614	2,757	481	13,987	—	13,987
その他の収益	—	—	—	—	18	—	18	—	18
外部顧客への 売上高	1,370	2,528	4,233	2,614	2,776	481	14,005	—	14,005
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	521	30	77	52	5	1,147	1,834	△1,834	—
計	1,892	2,559	4,310	2,666	2,782	1,628	15,840	△1,834	14,005
セグメント利益 又は損失(△)	△172	△139	85	△94	310	116	105	△243	△138

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△40百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△202百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	自動車 部品事業 (日本)	自動車 部品事業 (北米)	自動車 部品事業 (アジア)	自動車 部品事業 (欧州)	セキュリテ ィ機器事業 (日本)	セキュリテ ィ機器事業 (海外)	計		
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	1,845	3,821	4,136	3,814	3,698	778	18,094	—	18,094
その他の収益	—	—	—	—	15	—	15	—	15
外部顧客への 売上高	1,845	3,821	4,136	3,814	3,713	778	18,109	—	18,109
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	523	25	297	53	105	2,076	3,082	△3,082	—
計	2,369	3,846	4,434	3,867	3,819	2,855	21,192	△3,082	18,109
セグメント利益 又は損失(△)	38	△35	△177	6	527	280	639	△236	403

(注) 1. セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△250百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。